

特許の地図（パテントマップ）を用いた 特許情報の活用について

私たちは目的地に早く到着するために地図（マップ）を使います。しかしながら、特許を出願するとき、良質で早く権利化できる出願をするためにどんな道具を使っているでしょうか。多くの方々は、自分の発明のみに固執して出願をしているのではないのでしょうか。

ところが、大企業や優れた中小企業は、自社だけでなく他社の特許情報も「特許の地図（パテントマップ）」として作成し、戦略的な特許出願をすることが日常的な取り組み方になっております。そこで今回は、弁理士 佐藤辰彦氏の基調講演と共に経験豊富な地元の企業の事例紹介／パネルディスカッションで、良質な特許出願をするための道具になるパテントマップの活用の仕方を味わっていただきたいと思います。

参加無料

事前申込制
定員になり次第締切ります。



平成23年 **2月25日(金) 13:30~15:30** (受付 13:00~)

場所：高崎市産業創造館 多目的ホール
(高崎市下之城町 936 番地 14)

定員：80名

今後のセミナー開催
予定などはこちらの
モバイルサイトへ！



セミナープログラム

13:00~

受付開始

13:30~

基調講演

講師：弁理士 佐藤辰彦氏 (元日本弁理士会・会長)

事例紹介／パネルディスカッション

モデレーター：弁理士 佐藤辰彦氏

パネリスト：スターテック工業株式会社
太陽誘電株式会社

15:30

終了

※プログラムの内容は予告なく変更になる場合もございます。予めご了承ください。

講師紹介



佐藤 辰彦 (さとう たつひこ) 氏 特許業務法人 創成国際特許事務所 所長・弁理士

福島県生まれ。早稲田大学アジア太平洋研究科博士課程後期終了。1973年弁理士登録。1986年創成国際特許事務所設立、2008年には、事務所法人化、福島事務所を設立 (<http://www.sato-pat.co.jp>)。日本弁理士会においては会長、総括副会長、各種委員会委員長・委員を歴任。現在は、早稲田大学大学院 MOT 客員教授を務めると共に、政府関連では、工業所有権審議会臨時委員、知的財産戦略本部有識者本部員としても活躍している。

主な著書：1994. 6 「国際特許摩擦と日本の選択 (第4章)」 東洋経済新報社 (共著)

2009. 8 「発明の保護と市場優位」 白桃書房

主な論文：2007. 11 「『知的財産立国宣言』の背景と経緯」

2007. 12 「『知的財産立国宣言』以降の知的財産制度改革の状況」

2008. 1 「日本におけるプロパテント運動の進展状況」

主催：広域関東圏知的財産戦略本部 (関東経済産業局)・特許庁

共催：群馬県・高崎商工会議所・NPO法人北関東産官学研究会・

社団法人発明協会群馬県支部高崎分会

実施機関：社団法人発明協会

お申込・お問合せ先

下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

高崎商工会議所 工業振興課

TEL : 027-361-5171 FAX : 027-362-3550

会場案内図



- ◆高崎駅から、車にて約10分
- ◆倉賀野駅から、車にて約5分

参加申込書

平成 年 月 日

高崎商工会議所 工業振興課 行

FAX : 027-362-3550 TEL : 027-361-5171

平成22年度中小・ベンチャー企業向け知的財産セミナー
「特許の地図（パテントマップ）を用いた特許情報の活用について」

開催日時：2月25日（金）13:30～15:30 会場：高崎市産業創造館 多目的ホール

貴社名			
電話番号	FAX 番号	E-mail	
部署・役職名	フリガナ		
	氏名		
	フリガナ		
	氏名		
	フリガナ		
	氏名		

〔お願い事項〕 ◆事前申込による、先着順とさせていただきます。キャンセルの場合には、お早めにご連絡ください。
 ◆申込受託のご連絡はいたしませんので、直接会場にお越しください（定員を超えた場合はご連絡いたします）。

※ご記入いただいた個人情報は、主催者において今回のセミナーにかかる事務処理、今後のセミナー等のご案内（DM、メールマガジン等）以外には利用いたしません。また、承諾なく第三者に提供することはありません。

